



平成 24 年 5 月

第 61 号

SEIFUKU

# 清福

題字 総本山金剛峯寺座主松長有慶大僧正猊下

## 高野町議会だより



平成 24 年度 花坂小学校入学式

### 平成24年3月定例会

#### おもな内容

- ◇ 平成24年3月定例会の概要 ..... 2頁
- ◇ 平成24年3月定例会議案審議 ..... 2頁
- ◇ 平成23年度補正予算（第6号） ..... 3頁
- ◇ 平成24年度一般会計予算 ..... 3頁
- ◇ 一般質問 ..... 4頁

発行 高野町議会  
編集 広報特別委員会

〒 648-0281

和歌山県伊都郡高野町大字高野山 636

TEL : 0736-56-3000

FAX : 0736-56-5300

e-mail : gikai-jimu@town.koya.wakayama.jp

## 平成24年3月定例会の概要

平成24年第1回定例会は3月8日に開会しました。この定例会では、平成23年度補正予算・条例の改正・制定・平成24年度予算・発議などの審議を行いました。また、富貴財産区管理委員の選任に同意し、21日に終了しました。

## 議案とその結果（3月議会）

議 題 名	付託委員会	審議結果
平成23年度補正予算（7件）		原案可決
条例の改正（17件）		原案可決
条例の制定（2件）		原案可決
平成24年度予算（20件）		原案可決
高野町富貴財産区管理委員の選任について		同 意
高野町議会の議員の定数を定める条例について	発議（議会運営委員会）	原案可決
高野町議会委員会条例の一部を改正する条例について	発議（議会運営委員会）	原案可決
「こころの健康を守り推進する基本法（仮称）」の制定を求める意見書（案）について	発議（厚生建設常任委員会）	原案可決
保育所・児童入所施設的环境改善を求める意見書（案）について	発議（厚生建設常任委員会）	原案可決
障害者総合福祉法（仮称）の早期制定を求める意見書（案）について	発議（厚生建設常任委員会）	原案可決

## 平成24年3月定例会議案審議

## 発議第一号 高野町議会議員の定数を定める条例について

## 提案理由（議会運営委員会委員長） 合併（昭和33年）後55年が経過しました。合併時の人口は1万202人。平成23年12月末の人口は3732人に減少しています。2区になつて

いると富貴は富貴、高野は高野と言うような組織が今も続いており、高野町の事を考えて行かなければならない時代に来ている。高野町議会で今後の活性化を考え、全員で協力して高野町の発展に寄与すべきである。これからは、予算の確保、人口減に伴う過疎化及び高齢化社会を迎え、今までとは違う時代が来ている。この機会に高野町議会は一つになつて、高野町の事を全議員で考えて行かなければならない。

## 質問 提案理由の中で分からないところがある

ありますのでお聞きします。2区にしていると富貴は富貴、高野は高野とあるが、組織とは何か教えてほしい。それとこの機会に選挙区を一本化にして高野町の事を考えて行かなければならないと発言されたが、私としては意味が分からない。議員10人になった理由も教えてください。

## 答弁（委員長） 選挙区を分けているため、

富貴は富貴、高野は高野という考え方が出た。（1区・2区制の制度）この為合併後55年が経っても合併当時とあまり変わっていないのが現状である。これからは全員で高野町の事を考えて行かなければならない時代に来ている。今後町の財政面及び人口の減を考え定数を10人と決めた。

## 反対討論 議会運営委員会において、審議が

行なわれました。しかし、2区の議員は入っていません。富貴は富貴、高野は高野となっていないと思います。富貴支所、診療所等がどうなるか、住民として非常に心配をしている。

## 賛成討論 この問題については、なぜ今なのか

かと言えば、逆に言えば遅きにきしたと思っております。1区2区と分かれていた為によくなくて来なかったと言うのが現状ではないかと、55年間の先人達の苦勞には頭を下げる事は必要だと思いますが、これからは全町議員で高野町全体の事を考えていく必要があります。

## 反対討論 地区住民の意見を聞きながら結論

にいたりました。住民に選出された議員として、反対している地区住民を見捨てるわけにはいかない。よって反対討論といたします。

## 賛成討論 議会運営委員会でも、今まで4回

の運営委員会を開催し審議を行なって参りました。その結果、第1選挙区と第2選挙区を統合してひとつの選挙区とし、議員定数については1名削減することに賛成とします。

## 採決 採決は投票で行なわれました。

賛成票8票 反対票2票

平成23年度高野町一般会計補正予算(第6号)

**質問** 美しい街並景観整備事業費修景補助金事業300万円について説明願います。

**答弁** 今年度、国の補助金を活用して整備する事業を予定していました。1件は建設工事が遅れている新設に伴う修景分の補助で、あとの1件は、大法会に向けての修景整備などが出てくる可能性もあるため、予算措置していた300万円を繰越したものです。

**質問** 農業集落排水事業会計繰出金500万円の減額について説明願います。

**答弁** 花坂地区、国道480号線御室橋の架け替え工事に伴う下水道排水管の架け替え工事費です。県の工事の遅れのため減額させていただきます。24年度県工事完了後、早急に実施する予定です。

**質問** バス停制作委託料70万円の説明をお願いします。

**答弁** 夢たまごハイランドタクシー(富貴筒香乗合タクシー)のバス停で、新設1ヶ所、既存13ヶ所分のやり替えに要する制作費です。

**質問** 世界遺産の森林を守ろう基金委託料300万円の減額について説明をお願いします。

**答弁** 県からお話をいただいた、民間の基金によるもので、山の整備に充てていました。高野町では24年度にも事業を計画していますので、23



年度分は紀南方面へ回してほしいという県からの要請に伴う減額です。

平成23年度国民健康保険特別会計補正予算

**質問** 高額医療費共同支出金について説明願います。

**答弁** 一つの病気などで医療費が30万を超えるような場合、各保険者にかかる負担金が大きくなるということで、各市町村の保険者で基金のような形を作り助け合いの仕組みの中で支援するための拠出金です。

平成24年度一般会計予算

**質問** 自主防災組織補助金50万円について説明願います。

**答弁** 災害発生時、消防署、町においてすぐ対応できないようなことを対応していただくために、各地区で自主防災組織を結成していただきたいと呼びかけをしております。早期に結成をしていただきたいと考える中で、結成の会議など寄合をもつていただく費用などに対して計上させていただきました。

**質問** 保育所委託料198万4千円について説明願います。

**答弁** 広域保育委託に関する費用で、例えば共稼ぎのお母さんが橋本市のほうに職場がある場合など、職場近隣の公立保育所へ預けたほうが便利な場合があります。このような場合、入所審査は高野町で行い、希望保育所の市町の了承があれば国で定められた委託料

を支払い、希望保育所へ入所させることができます。これに伴う費用で24年度予定している3市町への広域委託料分です。

**質問** 中の橋立体駐車場トイレ設計監理委託料225万円について説明願います。

**答弁** 中の橋立体駐車場にある公衆トイレがかなり老朽化しておりますので本山とも協議し、県の観光施設整備事業補助金などを活用して24年度にトイレを改修したいと考えており、トイレ改修工事に対する設計監理委託料です。

**質問** 予防費予算が23年度に比べ316万9千円増額となっておりますが説明願います。

**答弁** 23年度から子宮頸がん、ヒブ、肺炎球菌のワクチン接種が始まりましたが、23年度予算作成時には国の要綱が決まっていなかったため当初予算には計上しておりませんでした。24年度も継続して実施するというところで当初予算に計上しましたので、その分が増額になっております。

**質問** 環境パトロール業務委託料480万円についてですが、どのくらいの地域を巡回され、その事業内容と合わせて説明願います。

**答弁** この事業は観光事業ということで、観光地の美化を重点に置いた事業と捉えています。中心になる業務は高野山上にあるごみ箱11ヶ所(1日2回)の回収、高野から花坂への国道480号線、志賀高野山トンネル出口付近まで、高野竜神スカイライン沿線、町道大門高野山駅線などの巡回です。基本的に観光という位置づけの中での事業展開を行っています。



中前好史 議員

### 高野山内の景観づくりについて

**質問** 奥の院の入口一の橋（大橋）の川を二重底にして上部をさらさらと水が流れ小動物が住めるビオトープイメージの気（心）がやすらぐ川づくりができないものでしょうか。

**答弁**（建設課長） 川の整備ということで町づくりにとって川はすごく重要なものだと私も認識しています。

川があることによって寺院などは境界というような形の捉えかたをして、そこに橋を掛けて渡るといのが、高野山の歴史の中には町づくりがおこなわれてきたのかなと思います。

以前上下水道課時代からもそう思っていますが、今現代この川のあり方を考えた時安心安全にと、降った雨水をすみやかに流すため、護岸の底にコンクリートを三面張りし、流す方法をとっております。

コンクリートの上に何かを作ったというような事も考えておりましたが、現在川の整備は1時間あたりに57ミリ排出できるよう整備しています。そのような中でも、年間において時々1時間あたり60ミリの雨も降る事もあり、今はまだ手つかずになつてはいます。川の復元をすればとの話もありますけれども昭和28年の豪雨災害では、玉川通りをはじめ、

東小田原から一面水浸しになった状況もありましたので川の断面を大きくしたりとかも必要かと考えます。

ビオトープと言うことですが、都会では、河川を二本化するような形で色々と親水性をもたすということがおこなわれています。また世界中を見ますとドイツでは、早くから、川を自然のものにしたり、お隣の韓国ソウル市内では川の復元をおこなっています。

高野山で今できるとすれば護岸底三面コンクリート張りをもともどす事、それにより見た感じが良くなるのではと思います。（風景が良くなる）ただ現状をみると年間降雨量1800ミリと凄く雨が多いので、雨にも対応しながら、やすらぎもてる川にしていく必要があると思います。それは今後の課題とします。また川を暗渠化し道路を広げ多くの車を入れてきましたが、環状道路ができることによって、いろんな取り組みができるのではないかと思います。

今後の高野山を見据えた上で、川のあり方というものを、今後何をすべきかということ、住民のみなさんと一緒に考えて行動に移す時がきているのではないかと私は思っています。

#### 要望

玉川通りを楽しみながら歩ける通りにと考えた場合、川を復元するという事は非常に難しいことですが、玉川通りを生かすために先ず一の橋（大橋）から見える川の整備を進めながら暗渠化し、歩道となつているところに植物なり、歩いて目でやすらげる

ことのできる通りになっていたかと思いますが。（花咲く通り）

環状道路の話がでていましたように、環状道路を利用し奥の院参拝のため、中の橋駐車場に来た場合には、町中に人を導く誘導看板を設置するとの計画もあると聞いています。山内中央に観光客を呼び込むような手立をしていくように、先ず中の橋駐車場の隣となる、玉川通りの整備を考えて頂き、観光客が足を運びやすくし（興味深く）玉川通りから、千手院方面にかけて進んで（楽しんで）歩いて行けるような、整備を考えていただきたいと思えます。

一の橋の歩道も良い感じに仕上げて頂いています。この事について、日々町の事を思い考えていただいています町長、また建設課長、関係課長にも心を込めて町を歩いていたいて、もつとこうすれば良くなるのではないかとかの提案を住民に話していただき、会を持ち、山を、町を活性化して行けるような方向性をいただきたく思いますので、よろしくお願いたします。





松谷 順功 議員

町長施政方針に対する副町長の具体的な施策及び企画について

**質問** 副町長は長の命を受け政策及び企画をつかさどることが職務として明記されていますが、24年度の施政方針を具体的にどう考えられたのかお聞きます。

**答弁** (副町長) 地方自治法での副町長としての職務は十分理解しています。その中に長の命を受け重要事項についての企画・立案する件が含まれています。

**質問** 活力と魅力あるまちづくりについてはどのようにお考えですか。

**答弁** (副町長) 産業の振興と定住の促進が重要な課題であると思います。高野町の人口は合併当時より4割弱になっています。最近の国勢調査では、5年間に657人も減少しています。こうしたことから観光はもとより、農業・林業・商業の振興や、空家、空地の利活用意向調査や、むらづくりの支援事業等を実施していきます。

**質問** 歴史文化に調和した世界に誇るまちづくりについてはどのようにお考えですか。

**答弁** (副町長) 全国に知られた高野町の文化、伝統、精神を守り次世代に継承していく事、心の癒しの場として世界遺産の魅力をさ

さまざまな方法で全国・世界に発信していく事が非常に重要です。合わせて景観形成を推進するべく、修景施設整備助成事業に取り組んでまいりたいと考えています。

**質問** 住み易い優しい環境を考えたまちづくりについてはどのようにお考えですか。

**答弁** (副町長) 快適な生活環境の整備は、人口減少対策のうえからも欠かす事が出来ないものであると思います。新年度につきましては地域交通事業とか、取水施設整備事業、下水処理場長寿命化事業に取り組んでまいります。

**質問** 過疎地域の交通運行改善、整備されていない地域の上下水道施設の普及を進めるとの話ですが、筒香地区他、過疎地で冬期に川の水も使用出来ない所もあります。又地球温暖化対策について県からも節電方法等データも出されています。広報を通じて住民の皆様には知らされてはいかがですか。

**答弁** (副町長) 過疎地域に於けるバス、タクシーを使い易くします。上下水道については整備されていない地域の普及を進めてまいります。地球温暖化の一つの対策として、節電の必要性についても効果的な広報を考えてまいりたいと思います。

**質問** 安全、安心のまちづくりについてどのようにお考えですか。

**答弁** (副町長) 県の行政報告会で新政策が提示されました。住民皆さまの生命に関する

大変重要なものであると考えます。特に防災・医療・福祉の充実に努めてまいりたいと思います。更に高野町の未来を担う人づくりについて力を入れてまいりたいと思います。

**質問** 道路整備・耐震の促進・医療の充実(訪問診療・訪問看護)・子供の学力向上についてどのようにお考えですか。

**答弁** (副町長) 耐震の重要性は申すまでもなく、新年度耐震事業を進めてまいります。訪問診療・訪問看護について総合診療所となる事で、皆さま大いに関心をお持ちの事と思います。病院サイドで着々と準備を進めています。学力向上については、国際的に通用する子供を育てたいと考えております。

**質問** 12月議会に於いて環状道路への取付道について質問しましたが、町長より「住民の意見を聞いて検討したい」との回答がありました。商工会会長より町長宛に要望書(環状道路と山内を結ぶアクセス道路及び関連駐車スペースの早期整備促進について)が提出されています。議場でその一部を読ませていただきますでしたが、どのようにお考えですか。

**答弁** (副町長) 住民の皆さまの意見を受け承りながら、防災の点も考慮に入れ、さまざまな角度から検討してまいりたいと考えます。





所 順 子 議員

病院の診療所化の諸問題について

**質問** 昨年十二月の議会に六百余名の署名を添えて病院診療所化反対の請願書を提出いたしました。が、民意を聞かない委員会での採決、議会で否決と言う情けない結果となりました。ベッド数は二床となり、当然他の医療機関にも搬送されることとなりますが、紀北病院、那賀病院との契約は完了されていますか。

**答弁** (病院事務長) 公・私立六病院へ出向き緊急的な入院について要望し、受入をお願いしてきています。入院に対しての契約書の書類はない。

**(町長)** 現在、契約は交わしていない。今まで通り受入をしていただけるということを確認する。

**質問** 高野山開創法会を見越して消防署の人員、救急救命士や救急車の増車も考えなければならぬが、構想、予定をお聞きしたい。

**答弁** (病院事務長) 診療所の受入対応、看護師や先生の配置状況を考えねばならない。五十日間についてはできるだけ手厚くしたい。

**質問** 消防署員、救命士の増員、消防車の増車も考えなければならぬのではないか。

**答弁** (消防長) 救急車の増車については一時期のことであるので考えていない。ただ人員等についてはその時の待機状態で対策を練っていききたい。

**質問** 今の人員はどうなっていますか。

**答弁** (消防長) 署員は二十一名、常時夜間五名で、昼間は来年度十一名になる予定である。そのうち救命士は八名いる。その中で二班に分かれるので、一日当たり四名の配置になる。

**質問** この二十一名中、何名が山外在住か。診療所をスタートさせたら、消防署、救命士などこれで役割を果たせるのか心配でならない。

**答弁** (消防長) 二十一名中、六名が山外に居住。一番重要になるのが救命士の搬入先の病院への判断であると思う。

**質問** 訪問診療について、家から病院に電話をして、訪問を依頼すれば来ていただけると、個人病院が行っている訪問診療と勘違いをしている。事務長は「診療所化前に更に説明したい」と述べられたが、十二月の議会後に何力所で説明会を開催されましたか。

**答弁** (病院事務長) 十二月議会でお約束しましたが、説明会については日程の都合でできなかった。

**質問** 訪問診療には「一人での通院が困難で、診療所が訪問診療と認めた方」とありますが、診療所、すなわち医師が認める基準や規程があるのかお聞きしたい。

**答弁** (病院事務長) 診療所へ来られている患者さんの通院が困難になった場合、主治医が患者さんの情報を得た上で、本人や家族の申請によって主治医の方で判断していただいている。

**質問** 規程、基準は無さそうだと感じたが、どの程度でどのような判断をしていくか。

**答弁** (病院事務長) 四月以降、先生四人の中で外来の部分と並行して、行っていく予定

である。

**質問** 看護師を訪問看護の実習に行かせる、との答弁もありましたが、今何名の看護師がおられ、何名が実習に行きましたか。

**答弁** (病院事務長) 看護師は十二名。実習は全員に一週間行かせた。

**質問** 診療所となつての十年程度のシミュレーションを公表していただきたい。

**答弁** (病院事務長) 十二月議会前に議員との協議会の中で、今後の財源の流れについての五年間についてのシミュレーションを示した。

**質問** 全体会議などは、議員のみ知るところで、町民には伝わらず、広報紙やインターネットにも掲載されません。同じことを聞いても本会議で答えていただきたい。

**答弁** (町長) 今年度は一般会計から一億七千万円の繰入と、新年度に関しては三千万円減の一億四千万円になっている。今年度に関しては当初予算より三千万円ほどの増で二億円。病院の方も種々努力をして運営に携わりたい。

**質問** 行政の努力・医療関係者の献身で診療所が独立採算でき、住民から不満の出ない診療所に向けて、訪問看護など諸々が上手く機能する運営を求めます。

**答弁** (町長) 住民に不安を与えないように、行政と病院職員一同取り組んでいきたい。

**要望** その言葉を忘れないよう切に願う。

十二月定例会

診療所化採決結果

賛成者 9人  
反対者 1人



大西 正人 議員

まちづくりコンシェル

**質問** 町民が一体となって、まちづくりを進めていかなければと考えます。そのなかでも、若者が元気に活動する姿は、町に活気を与え、周りに希望を感じさせます。彼らの力を活かした、まちづくりについての動きが必要であると思いますが、町長の考えをお聞きます。

**答弁** (町長) 就任から約2年になります。その間に商工会青年部、青連協等とも話をさせていただきました。そのなかで今、絶対人数が、かなり少なくなっています。町石道参詣のイベント、これは伊青連を通じた事業です。商工会青年部として、青葉祭前夜祭のねぶた、独自の事業で、女人道めぐり等々の事業を行って来ています。少ない人数で、彼らは事業を継続して頑張っていると思います。なかでも高野山を含む、高野町の活性化という部分で、非常にご協力をいただいています。町行政に対してはかなり厳しい要望、厳しい質問、また職員に対する厳しい考え等も聞きました。青年たちが頑張っているなかで、行政と青年が一体となった、まちづくりというものが重要になってくると思います。行政も勿論、若者を含め町民全体という考えで、このまちづくりを考えておりま

す。当初予算には現れない数字もあります。私の考えの中にも青年たちに提示をしていきたい、求めている部分がありますので、順次予算化をして、提案していきたいと思っています。青年たちとの話し合いの中で、意見も吸収しながら、行政に活かしていきたいと考えております。

**質問** ふるさと創生事業の交付金が現在、特定目的基金となっております。元々は地域活性化まちづくりの為の交付金ですから、その基金の目的に添った形で、若者の活動のなかに活かしていく事はできませんか。

**答弁** (町長) 予算的に限りがありますが、必要なものに関しては使っていただきたい。勿論、町の活性化という部分で使ってもらえるような提言もしていきたいです。また、青年たちからも提案をいただきたいと思っています。昨年度、まち未来課の方からも、青年たちに提案・提言というような話もさせてもらっていますので、青年たちの考えも、こちらに入ってくるのではないかと思います。青年たちに、具体的な事を提案したいという部分のところは、私の頭のなかにあります。時期が来れば、青年たちにそのような提言をさせていただきたいと思っています。

**質問** 若者に呼びかけ、地域の再生、活性化を図る為の、まちづくりを進める若者版、寄合会を開くのはどうですか。

**答弁** (町長) 何回か若者たちと懇談会を持たせていただいたなかで、その時は要望、質

問が中心になりました。要望にしましては即答もさせていただきましたし、質問に対してお答えもさせていただきました。ただ、提言ということになって来ますと、そこまでの具体的な案がなく、進まなかったのが実情です。次回、彼らとの話し合いのなかでは、町の活性化に繋がるような話しを持つよう、事前にそのような話をさせていただき、予備知識を入れ、それを元に懇談会を持ちたいと思います。

**質問** まち未来課の方も、若者たちと話をしておられるようですが、若者版、寄合会についてどう考えますか。

**答弁** (まち未来課長) 現在、集落の寄合会を活発に進めております。高野山、山上におきましても若い方の意見は、当然これから高野町を担っていく若いパワーですので、そのような事も積極的にやっていきたいという事で、火まつりの時も若い方といういろいろ話をさせていたいただきました。これからも要望等ありましたら、積極的に出席させていただきますし、進めていくべきかと思





大谷 保 幸 議員

夢たまごハイランドタクシーについて

**質問** 富貴筒香地区で、運行しているタクシーの件でお伺いします。運行して一年が経とうとしています。一般の人で、橋本・五條へ行く人の人数及び目的を把握していますか。分かる範囲でけっこうです。そして、タクシーを利用して通学している生徒はいますか。

**答弁** (まち未来課長) 夢たまごハイランドタクシーと言う、富貴の子供たちが将来に向かって明るい名前をということで、大変親しんでいただいております。質問いただいた一年が経つ中で、しくみについても以前と少し変わり、1日の便数も4便に増え、また運行を始めてからも、筒香地区の皆さんの会議等の中でいろいろ意見を聞かせて頂いて、5割6割の乗客が増えたという実績です。昨年の4月から今年の2月末までで、1889名の乗客に利用して頂きました。その中で、以前筒香地区の利用の方があまり目立っていませんでしたが、下筒香集会所から運行する事で、筒香地区の方の利用数が増えているのが実績です。通学は、富貴地区に6名の高校生がいるが、奈良智弁に通う生徒1名が週2〜3回利用している。あとの5名は利用実態がないというのが現状です。

質問

タクシーが運行する前に数回会議がありました。その時に筒香地区の要望として橋本市民病院・橋本駅へ運行してほしいという意見があり、今年の



区総会でもこの意見が出ました。月曜〜金曜は4便で、土日祝日は2便の運行は本当に嬉しい限りですが、乗車している人達は高齢者が多くて、今迄の運行でいくと乗り継ぐ回数が多いことから、体に負担がかかるという意見もあります。この点を考慮していただき、運行方法を変更する事が出来ないかをお伺いします。

**答弁** (まち未来課長) 運行形態ですが、このバスの利用者の6割程度が橋本の隅田方面、後の4割が五條方面を利用している。隅田の6割の中で、筒香の方は全てJRに乗り継いで橋本へ行かれる、富貴の方については約半数が橋本へ行かれてると統計を取っている。それで橋本に行く方については、隅田駅からJRか、林間バスで橋本駅、そこから市民病院の無料バスや南海電鉄を利用して

る。五條に行く方については、五條病院に月に数人利用するという事で、智弁学園の生徒は週に2回程度のみ利用しているという状況です。筒香地区に関しては月1回タウンミーティングを行っている中で、橋本方面へ行ってほしいという声も届いている。ただ富貴の地域の方と筒香の地域の方の意見が若干違うという中で、いろいろ調べて見たところ、筒香地区の皆さんについては、従来から橋本に出られているという生活形態が今も続いている中で、病院等についても橋本の方が生活拠点になっている。富貴地区については、五條が生活拠点になっており、そういう形態が今も続いているという事で、富貴筒香地区の意見が若干違うのかなというように感じている。行政で別にどこへ行くとか、どこへ走ると言うよりも、夢たまごハイランドタクシーは富貴筒香地区の住民の皆さんのバスですので、富貴の方と筒香の方の意見が同意出来れば、行き先等も変更しても良いと考えられるし、橋本駅前に行く事が本当に便利で良ければ当然変更も出来ます。もちろん陸運局の承認を取った上で行き先を地域住民の方の希望・意見を聞きながら変更出来ればと考えられ、6ヶ月ぐらい時間があれば行き先変更・時間変更も十分可能ですので、これらも十分視野に入れて、地域の方とミーティングを行って行きたいと思えます。

**その他** 通学についての答弁がありました。省かせていただきました。





平野 一夫 議員

**観光参拝客を高野山に来ていただくために**

**質問** 平成27年弘法大師開創千二百年法会にむかって行政と住民が一体となって知恵と工夫をこらし、観光参拝客が高野山に来ていただく為、活力と魅力あふれる町づくりとして具体的にどういうことをされている。

**答弁** (町長) 聖地高野山で住まわせていただいていることに、感謝と誇りをもって参拝観光客に接しなければならぬ。まずおもてなしの心が一番の基本です。そして食文化がともない、おいしい精進料理を安く提供出来るようにしてやすらぎと憩いが必要です。これらを実現する為に電線の地下埋設工事、トイレの改修、歩道の整備等に取り組んでおります。

**質問** 歩いて観光周遊、歴史と文化に調和した世界に誇る町づくりとは。

**答弁** (町長) 高野町全域を歩いて楽しく周遊型、長期的な滞在をしていく消費型観光などを考えています。観光標識なども統一的なものにするために、金剛峯寺なども話し合いを進めて高野の景観にマッチしたものに変わっていきたいと思います。

**質問** 金剛峯寺が山内三箇所をライトアップして夜おそくまで、参拝客でにぎわっておりますが町として増設個所の予定はないのか。

又富貴、湯川その他過疎集落の活性化の成果と鳥獣対策は如何か。

**答弁** (町長) ライトアップについては検討させていただきまます。過疎集落については県との話し合いと筒香、花坂、細川の皆さまと話し合いをして23年から24年にかけて過疎集落の事業化への実現をすすめ、そこで具体案が出て来ます。鳥獣対策については、22年電気柵を町単独で出していたものが23年から県からも助成してくれるようになった、24年度は狩猟鳥獣捕獲用おり10基を作る予定です。

**質問** 地下電線埋設工事又シルバー人材センターの動きは。

**答弁** (町長) 地下埋設は23年度より着工し、24年度1億6千万円の予定で25年までには完成し27年開創法会には完工予定です。またシルバー人材センターでは45名が参加して、各々の皆さんは仕事を提供するだけでなく、高齢者の生きがい対策になっている。

なお開創法会は4月2日～5月21日迄の50日間ですが、この一年間を開創イヤー千二百と称し取り組みます。町は千二百年祭後も町づくり活性化を更におしすすめて参ります。

**副町長就任を省みて**

**質問** 副町長の仕事についてお尋ね致します。

**答弁** (副町長) 沢山の決裁をするほか、町長の代役として行事、イベント式典に出席し

ています。副町長として県の振興局や市町村を訪問し情報交換や、意見交換をしています。町民の陳情要望、意見を聞き町長に伝えています。最近では県の医務課へ足を運んでおります。

町長のかた腕となり町長不在の時は代役、町職員の綱紀粛正、礼儀作法等の指導は副町長の仕事です。

**災害に強い町づくりについて**

**質問** 三大地震が近々必ず高い確率で発生する。管内の幼保、小学生、中学生そして高齢者に対して災害発生の実際訓練の指導を必ずやっていたいただきたい。

**答弁** (総務課長) 三月の連合町内会総会にて防災組織の結成をさせていただきよう願った。又高齢者、要介護者避難用の車イス、リヤカー設置の経費の補助を検討中です。地域の防災の要として、消防団のハード面での活動を期待し、特に女性消防団員の増員と育成は、地域の民生委員、保護者、警察、消防署の方々と連携をとり、弱者、一人住居の老人の見守り活動を期待している所です。又保育園、幼稚園児の訓練は園内で実施、小学校校内災害訓練を実施し、登下校途中での避難場所の確認も今後行う。高野町全体については地域住民が主体となって、町内会単位で防災訓練の実際を遂行していただき、災害に強い町づくりを構築していきたい。

1月

- 議会全員協議会
- 高野町出初式及び成人式出席
- 広報特別委員会（編集会議）
- 議会運営委員会

2月

- 和歌山県町村議会議長会出席
- 和歌山県国民健康保険運営協議会連絡会出席（和歌山市）
- 第31回北方領土返還要求和歌山大会出席
- 高野町交通計画検討委員会出席
- 橋本周辺広域市町村圏組合議会代表者会議出席
- 広報特別委員会（編集会議）
- 善通寺市議会訪問（香川県）

- 橋本周辺広域市町村圏組合議会定例会出席
- 伊都郡町村及び橋本市児童福祉施設事務組合議会出席
- 伊都郡町村及び橋本市老人福祉施設事務組合議会出席

- 平成23年度高野町介護保険運営委員会出席
- 平成23年度高野町国民健康保険運営委員会出席
- 和歌山県町村議会議長・副議長研修会出席（那智勝浦町）

- 議会運営委員会

3月

- 議会運営委員会

## 一般質問（質問詳細については、4～9ページに掲載）

受付順	氏名	質問事項
1	中前 好史	・高野山内の景観づくりについて
2	松谷 順功	・町長施政方針に対する副町長の具体的な施策及び企画について
3	所 順子	・病院の診療所化の諸問題について
4	大西 正人	・まちづくりについて
5	大谷 保幸	・夢たまごハイランドタクシーについて
6	平野 一夫	・観光参拝客を高野山に来ていただくために ・副町長就任を省みて ・災害に強いまちづくりについて

次の方が選任されました。

高野町富貴財産区管理委員

東久保 秀人 氏

一般質問については

『発言』及び『答弁』の内容は、質問者に編集・校正をお任せし、質問者の責任のもと掲載しております。

## 編集後記



春暖の候、町民各位のおかれましては益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、昨年の東日本大震災から1ヶ年がすぎましたが、報道を見ても一向に復興が進まない事態は残念でなりませんし、紀伊半島に上陸した台風12号で災害にあった那智勝浦に最近行く機会があり、爪痕を見て涙しました。今年に入り異常気象になっており、心配ではありません。この4月より高野山病院が診療所になっていきますが、外来診察は今までと変わりなく実施。今後は訪問診療・訪問看護に力を入れてまいります。住民サービスが充分であるか議員として見守って行きたいと思っています。3月の議会定例会において選挙区を1つにする議案が可決されました。しかしながら、審議する議会運営委員会において2区の議員がいない状態で行なわれた。この事は、2区の議員を無視した行動と思っています。いろいろな理由を付けているが、1区の議員がどこまで審議されたか心配でなりません。

（大谷 保幸）



地球環境保護のために、植物油インクを使用しています。